

## 編集後記 幸せってなんだーっけなんだーっけ

ようやく水がぬるんできたようですが、今年の冬はなんか一段と寒かったですね。

寒い日は温かい鍋が一番！特に今年は行きつけのバーのマスターお手製のポン酢がお気に入り。寒い夜に鍋を囲むと幸せな気分になります。

そういや昔「**幸せーってなんだーっけ、なんだーっけ**♪**ポン酢**しょう油がある家さー♪」って、CMで明石家さんまさんが歌ってましたね。って若い人は知らないかも。(^^)

「幸せ」の定義は僕もわかりませんが、その人が幸せと感じたらそれでいいのじゃないかな。その「幸せ」といえば、瀬戸内寂聴さんの、「**お子さんに『何のために生きるの？』と聞かれたら、『誰かを幸せにするために生きるのよ』と答えてあげてください**」という言葉思い出します。

挫折を乗り越えて平昌の冬季五輪で死力を尽くすアスリートの活躍も、見るものに感動を与え勇気を与え、あるいは幸せな気持ちにさせます。

例えば、男子フィギュアスケート。羽生結弦選手が金メダル、宇野昌磨選手が銀メダルとなった表彰台を見た時の僕がそうでした。とりわけ、一時はオリンピック出場も危ぶまれたほどの大けがをした羽生選手の復活には感動しました。

絶望の中でも弱音を吐くことなく現実を受けとめて、その中で自分ができることを一つずつ積み上げて、出場にこぎつけた末の気迫のこもった魂の演技でした。

そして、金メダルが決まった瞬間の涙。思わず、おっちゃんも泣いてしまいました・・・(T\_T)

金メダルから一夜明けた記者会見の言葉には、想像もつかない羽生選手の苦悩を垣間見た気がします。

「**きっとたぶん今、幸せだからまたすぐ不幸がたくさん起きて、きっとすぐまたつらい時期が来るんだろうなって。ただそれは次の幸せのためのステップだと思う。**」

羽生選手、おっちゃんも応援しとるからなー。百人力やでー。知らんけどー。

先日、「働き方改革」についてセミナー講師をさせていただく機会がありましたが、たくさんの方に聴講していただきました。各企業においても「働き方改革」への機運が高まっていると感じています。

ただ「働き方改革」は、社員の幸せと企業競争力の向上という目的の共有がなければ、かえってやる気のある社員のモチベーションを下げることになりかねません。

単純に「早く帰れ」、「休め休め」と言うこととは違います。

自分の仕事を責任もってやり抜くことは当然大切なこと。中途半端に仕事を投げ出されたら周りの人は幸せになりません。本人の成長にもなりません。

将来を担う**人材の育成**と、属人化された仕事の見直しや早く帰れない原因の分析等、**業務の改善**を考えないと、「早く帰れ」だけでは幸せになれないように思います。

羽生選手の言葉を借りれば、「働き方改革」は、**次の幸せのためのステップ**ではないでしょうか。

今回のオリンピックでは、羽生選手や小平奈緒選手や多くの日本人選手がインタビューで、家族やチームメイトや応援してくれた人への「感謝」の言葉を口にして、今の自分があるのは周りのおかげと感謝していましたね。

選手の周りの人も、その言葉を聞いて、また幸せになったことでしょう。(^^)!

僕も、寂聴さんの言うように生きたいとは思いますが、オリンピック選手のようにはなかなかできません。とりあえず出来ることといえば、さんまさんの歌にならって例の行きつけのバーに通って、マスターお手製のポン酢を持って帰ることかしらん。

でも酔っぱらって、転倒して減点されないように気をつけなくちゃね。(^-)-☆

アヴェニール労務事務所 所長 柿野元博

http://www.avenir-sr.jp

E-Mail avenir4you@gmail.com



幸せをあげがとー!



早く帰れよー



そだねー



本人より僕の方が緊張しとるがな

アヴェニール労務事務所

avenir

未来は変えられる!